

教務だより

2018年10月号
茗溪塾

茗溪塾教務部 03-3659-8638

あと一歩進めよう！受験勉強

茗溪塾塾長 宇野 雅春

秋の訪れに伴い、本格的な受験のシーズンの始まりを感じる今日この頃です。受験学年にとっては、すでに「心を決めて、受験に向かう」という時期に入りました。考える時期は終わり、目標に向けて一歩ずつ進めていくべき時ということです。そうになっている人も多いとは思いますが、学校行事が立て混んだり、学校や家庭での様々な出来事に巻き込まれたり、それほど単純に受験勉強に邁進できる人ばかりではないと思います。でも「受験」は自分の将来にとって大切なことです。あの時、こんなことがあってそのために失敗したと言い訳をしても責任はすべて自分にかかってきます。自分以外の誰も、その責任を取ることはできません。周りの条件よりも受験を自分のこととして自覚して勉強しているかどうか、受験の成否を決める大きな分かれ目だと思います。

自分の気持ちが受験に向けて煮詰まると、その変化は周りにもはっきりとわかります。「授業中の態度」「課題の消化の様子」「質問の仕方」「自習の時の集中度」生活のすべてにわたって変化が出てくるために、周りはずぐに「変化」を感じ取ります。逆にダメな受験生は周りにもダメを発信します。

「友達とのトラブル」「騒ぐ」「わかりたいという意識が薄く集中できない」

もし該当するならばこういうことを卒業する必要があります。塾ではこれを「不合格の準備」と呼んでいます。本人もきつく、先生の労力も使うのに、全く効果がない流れです。これは「受験勉強」がスムーズにいけないことが主な原因になっているので、本人を注意したり叱責だけでは解決できません。克服のためのポイントをあげてみます。

①**勉強の場の確保**…家が勉強の場として成立しない理由は、何かしら集中できない阻害要因になるものがあること。TY ゲーム パソコン ゲーム スマホ
そして親や兄妹（やりたいことが阻害されながらやる気を奪う叱責も多い）

必ずしも塾ばかりでなく、図書館など自分一人で集中できる場所があることが大事です。塾を使う場合は、周りの人が集中できるような配慮も大切です。

②**時間ではなく内容で打ち切る**…「TO DO LIST」を活用し、やることを先に決め、終わったら打ち切ることも大切です。時間で区切る勉強だと効果がないばかりかただ忙しさが増すばかりで、課題が消化しきれなくなります。

③**基本に立ち返ろう**…レベルを上げていくのが受験勉強ですが、解答を見ても先生の説明を聞いてもわからないものに固執するよりは「基本」をやり直した方が良いと思います。先生に相談してみましょう。「わかる！」勉強が大切。

以上、もし受験勉強が行き詰っていたら実行してみましょう。